

平成 24 年 12 月 14 日

各 位

“つばさ”プロジェクト運営協議会委員長
山形大学教育開発連携支援センター 教授
小 田 隆 治
(公印省略)

平成 24 年度 文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」採択事業
「東日本広域の大学間連携による教育の質保証・向上システムの構築」
プロジェクトシンポジウムの開催について (ご案内)

拝啓 寒気の候、時下ますますご清祥のことと、お慶び申し上げます。

日頃から、本学の教育・研究活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、文部科学省の平成 24 年度「大学間連携共同教育推進事業」に、「FD ネットワーク “つばさ”」のプロジェクト「東日本広域の大学間連携による教育の質保証・向上システムの構築」(通称 “つばさ” プロジェクト) が採択されました。

“つばさ”プロジェクトでは、大学間連携による FD/SD/IR によって教育改善を進め、同時にフィールドワークを通して学生が自己学習力と社会人基礎力を身につけることを目標としております。そこで、地域と連携した特色ある授業について情報の共有を行うことを目的としたシンポジウムを、下記の要領で開催いたしますので、関係各位に広くご周知くださいますようよろしくお願いいたします。

なお、詳細につきましては、同封のポスター、チラシをご参照ください。

また、本プロジェクトのパンフレットを同封いたしましたので、ご高覧いただければ幸いです。

敬具

記

1. 日時 : 平成 25 年 1 月 26 日(土) 13:00~17:00
2. 場所 : 山形大学 小白川キャンパス 理学部 S401 教室

以上

【本件の担当】*****

山形大学小白川キャンパス事務部教務課

教育企画担当 庄司由紀彦 鈴木和美

TEL 023-628-4480

FAX 023-628-4720

E-mail: k3cen@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

「東日本広域の大学間連携による教育の質保証・向上システムの構築」プロジェクト

シンポジウム

東日本広域「FDネットワーク“つばさ”」の新たな挑戦

— 大学と地域の連携による現地体験宿泊型授業の広域展開を中心として —



FD NETWORK TSUBASA PROJECT

Innovation on Higher Education in East Japan



日時

平成25年 **1月26日(土)** 13:00~17:00
(受付12:30~)

会場

山形大学 理学部 S401教室
(山形市小白川町1-4-12)

第1部 基調講演

「“つばさ”プロジェクトの概要」

● “つばさ”プロジェクト 運営協議会委員長 山形大学教育開発連携支援センター 小田 隆治 教授

第2部 「大学と地域の連携による『大地連携ワークショップ』を目指して」

「アイヌ文化と大学教育 —ウレシパ・プロジェクトを例に—」

● 札幌大学 本田 優子 副学長

「学生一人ひとりの『卒業成長値』を高める 地域の知的資源の交流拠点(ハブ)づくり」

● 東京家政学院大学 現代生活学部 上村 協子 教授

「学生による地域連携活動とキャリアデザイン教育の模索 ～ボランティア活動からプロジェクト型演習へ～」

● 日本女子大学 人間社会学部 久東 光代 准教授

「山村過疎地域に大学生がやってくる! —教養科目『フィールドワーク—共生の森もがみ—」

● 山形大学 基盤教育院 杉原 真晃 准教授

連携校・連携機関

北海道 / 【連携校】札幌大学、北翔大学、札幌大学女子短期大学部、北翔大学短期大学部 【連携機関】北海道教育委員会、釧路市、平取町、NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構

東北 / 【連携校】山形大学、会津大学、青森中央学院大学、石巻専修大学、東北芸術工科大学、東日本国際大学、青森中央短期大学、羽陽学園短期大学、いわき短期大学

【連携機関】新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村(山形県)

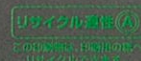
関東 / 【連携校】明海大学、国際武道大学、了徳寺大学、東京家政学院大学、東京造形大学、日本女子大学

【連携機関】川崎市、相模原市(神奈川県)

FDネットワーク“つばさ”プロジェクト

お問合せ先

FDネットワーク“つばさ”プロジェクト代表校 山形大学教育開発連携支援センター
〒990-8560 山形市小白川町1-4-12 TEL:023-628-4480 FAX:023-628-4720
E-mail:k3cen@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



「東日本広域の大学間連携による教育の質保証・向上システムの構築」プロジェクト シンポジウム

東日本広域「FDネットワーク“つばさ”」の新たな挑戦

大学と地域の連携による現地体験宿泊型授業の広域展開を中心として

■ 日時：平成25年1月26日(土)
13:00～17:00 (受付12:30～)

■ 会場：山形大学理学部 S401教室
(山形市小白川町1-4-12)

【趣 旨】

文部科学省の平成24年度「大学間連携共同教育推進事業」に、「FDネットワーク“つばさ”」のプロジェクト「東日本広域の大学間連携による教育の質保証・向上システムの構築」(通称、“つばさ”プロジェクト)が採択されました。本プロジェクトは、学生の自己学習力と社会人基礎力の育成を目的とし、大学間連携FD/SD/IRによって教育改善を進め、学生主体型授業やフィールドワークを地域の人たちと連携して推進していく取組です。本プロジェクトには、19の大学等、14の自治体等が連携し、いま動き出しました。

本シンポジウムは、第一部の基調講演で“つばさ”プロジェクトの概要をお話します。第二部のパネルディスカッションでは、地域と連携した特色ある授業や学生の活動について、“つばさ”プロジェクトの連携校である札幌大学・東京家政学院大学・日本女子大学・山形大学から話題提供をいただき、その後、フロアのみなさまと情報交換をしていきます。

多くのみなさまのご参加をお待ちしております。

ACCESS MAP



司会 / 山形大学 理学部 栗山 恭直 教授

開会の挨拶 13:00～13:10

山形大学 結城 章夫 学長

第1部 基調講演 13:10～13:50

「“つばさ”プロジェクトの概要」

“つばさ”プロジェクト 運営協議会委員長
山形大学教育開発連携支援センター 小田 隆治 教授

第2部 「大学と地域の連携による『大地連携ワークショップ』を目指して」 13:50～17:00

【話題提供 / 13:50～15:10】

「アイヌ文化と大学教育—ウレシバ・プロジェクトを例に—」

札幌大学 本田 優子 副学長

「学生一人ひとりの『卒業成長値』を高める

地域の知的資源の交流拠点(ハブ)づくり」

東京家政学院大学 現代生活学部 上村 協子 教授

「学生による地域連携活動とキャリアデザイン教育の模索

～ボランティア活動からプロジェクト型演習へ～」

日本女子大学 人間社会学部 久東 光代 准教授

「山村過疎地域に大学生がやってくる!

—教養科目『フィールドワーク—共生の森もがみ—」

山形大学 基盤教育院 杉原 真晃 准教授

【パネルディスカッション / 15:20～17:00】

座 長 / 山形大学 理学部

栗山 恭直 教授

パネリスト / 札幌大学

本田 優子 副学長

東京家政学院大学 現代生活学部

上村 協子 教授

日本女子大学 人間社会学部

久東 光代 准教授

山形大学 基盤教育院

杉原 真晃 准教授

閉会 17:00

情報交換会 ※学内の厚生会館にて行います 17:00～19:00

<参加申込み方法>

申込み期限 / 平成25年1月16日(水)

氏名、所属機関(部局)、住所、電話番号、E-mailアドレス、情報交換会(会費4,000円)への参加の有無を明記し、下記のいずれかの方法でお申込み下さい。

FAX ☎ 023-628-4720

E-mail ✉ k3cen@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

FDネットワーク“つばさ”プロジェクト

お問合せ先

FDネットワーク“つばさ”プロジェクト代表校 山形大学教育開発連携支援センター
〒990-8560 山形市小白川町1-4-12 TEL:023-628-4480 FAX:023-628-4720
E-mail:k3cen@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

参加申込書	[氏 名]	[所属機関(部局)]	
	[住 所] 〒	[電話番号]	
	[E-mail]		
	[情報交換会の参加希望]	有(会費4,000円)	・